

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		発達支援BOXらじあぼ		公表日		令和7年2月26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	3か所の活動室を利用し、子どもたちが活動しやすいように目的やニーズに応じてグループ分けをして活動しやすくしています。	より効率よく活動スペースや空間が確保できるように常に考えながら支援に取り組んでいきたいと思ひます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	各種専門職を配置し、様々な特徴をお持ちの子どもたちに対し、様々な視点から支援が行えるようにさせて頂いています。	各職種の専門的知識やスキルを共有し、安定した質の高いサービスをお届けできるように研鑽を積んでいきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	全てをバリアフリー化することは難しいのですが、階段や玄関の段差等はリハビリの要素として活用しています。	現状の設備環境で最善の支援ができるように工夫できることや支援の方法を検討していきたいと思ひます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	施設内、遊具、おもちゃ等、毎日の清掃、消毒、空間除菌、換気等を細やかに行っています。又、曜日や利用児様の様子によって、空間のレイアウトや物の配置等を随時変更し、活動しております。	今後も徹底した感染症対策を図ってまいりたいと思ひます。シアターを各部屋に導入させていただいたように必要に応じて適切な対策を講じていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	子どもたちの様子や活動の目的に応じて、自由に各部屋を使い分けながら活動しています。個室や個別の空間も確保しています。	今後も、子どもたちの様子や特徴に応じて個別から小集団まで、様々な環境で活動できるように努めていきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	2	なるべく多くの職員が集まっている時間帯に子どもたちの目標や活動の振り返りを行うように心掛けています。また、職員用の連絡ノート等を作り、情報共有を図るように心掛けています。	業務の都合上、全職員で集まって話す時間が取りにくい状況があります。更に細かい部分で意思統一をしていけますよう情報共有の方法を検討していきたいと考えております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	年度ごとにアンケートを実施し、内容を職員間で周知し、解決しやすい部分から対応しております。	個々のご意見を参考にしながら、よりよい支援ができるように改善できる部分から改善に努めます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	日頃から疑問や課題等、職員間でコミュニケーションがとりやすいよう勤めています。	今後も職員や管理職の間で日常から疑問や課題を意見し合えるような職場環境を意識していきたいと思ひます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3	外部評価は実施しておりませんが、自社他施設の代表等と意見交換をし、業務改善に繋がっています。	法制度等の変更があった場合等、必要に応じて外部の第三者評価の活用も検討していきたいと思ひます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	4	定期的に防災・虐待・保健衛生等の研修を行っています。希望者には、外部研修等に積極的に参加できるよう調整しています。	短時間勤務の職員に対して、スキルアップ等の研修の機会をどのように設けられるか検討を重ねています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	HPIに掲載しています。	HPIに掲載されている支援プログラムに則った支援を心掛けています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	保護者様との連絡帳でのやり取りや相談内容、聞き取り等を通してニーズを把握し、相談支援専門員等の関係者様とお子様の状況を確認し、総合的にアセスメントを行っています。	今後も、保護者様や支援に関わる方々、お子様のニーズを参考にさせて頂きながら、皆様と一緒に支援内容を考えていきたいと思ひます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	関わっている職員とお子様の現在の状況や今後の目標などを確認した上で、児童発達支援管理責任者が最終的に作成しております。	できるだけ多くの職員が参加できるミーティングを開催できるよう業務の効率化等を検討しながら最善を尽くしていきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	支援計画は職員が自由に閲覧できるように保管し必要に応じて随時再確認できるようにしています。毎回、支援開始前に各お子様の支援のポイントを確認しています。	支援内容について全職員が共通理解し、実際に支援の場で実践できるよう、今後も努めてまいります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	各種専門職の視点での日々の評価や行動観察、また各関係機関等のアセスメント結果を共有させて頂いています。	使いやすい標準化されたツールに関しては、今後も情報を細かくチェックし、精査していきたいと考えています。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	設定されているガイドラインの内容を確認しながら、ねらいや支援内容が適切に反映できるように心がけています。	研修等の内容も参考にしながら、より内容の濃い計画書にできるよう、学びつつ対応していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	各専門職の意見を取り入れ、お子様の特徴や目標を確認しながら、複数人で遊びや活動内容を決定しています。	より多くの職員が活動プログラムの立案に参加できるように、業務の調整や効率化を常に検討していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	お子様の発達や興味に合わせて遊びや活動内容を随時、変更しています。又、季節のイベントや季節ごとの遊びも積極的に取り入れるようにしています。	同じ活動や一定の流れの繰り返しで安心できるお子様もいらっしゃるので、お子様の特性に合わせて無理なく活動プログラムを検討させて頂きます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	お子様の特性と活動内容によって、活動人数や場所を調整しながら支援しています。	お子様の特性に応じて、支援計画書の留意事項の欄に個別や集団の記載をしています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	支援開始前にその日に来所するお子様を皆で確認し、活動の流れや各お子様に対する支援のポイントや連絡事項を確認し合っています。	送迎準備等の都合で、すべての職員が打ち合わせに参加することができない場合があります。職員間で連絡ノートを作る、声を掛け合う等して情報共有するようにしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	送迎や延長支援対応、清掃・消毒などの業務の都合上、その日の内に打ち合わせができないことがあります。その場合は、翌日に振り返りをしています。	送迎業務などで、全職員が振り返りに参加できない場合があります。職員間の連絡ノートや口頭での情報共有を心掛けていますが、更なる共有の方法を模索中です。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	基本的にその日の活動記録は、当日に記録しています。関わりのあった全ての職員が気づいた事を記入できるようにしています。	各支援ポイントを押さえた記録の記入ができ、さらなる支援に生かせるような記録の書き方などを学んでいきたいと思っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	最低でも半年に1回は、必ずモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを行っています。	新しい情報システムを導入し、児童発達支援計画のモニタリングや作成の時期に漏れがないように改善いたしました。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0	「4つの基本活動」の中から、実施可能な項目を組み合わせ支援を行っています。	「4つの基本活動」の中からできるだけ複数の活動を組み込むように思案していきたいと思っています。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	1	活動や場所などの写真を掲示する、おやつを複数の中から自分で選ぶなど、こどもが自分で選択できるように工夫しています。	楽しく活動に参加する中で主体的に自己選択、自己決定する力が身に付けられるような支援内容を考えていきたいです。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	基本的には現場責任者である児童発達管理責任者が参加しておりますが、必要に応じて各種専門職も一緒に参加しています。	有益な会議になるように、引き続き職員の配置や業務調整を行いながら、適切な職員が参加できるように調整していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	必要に応じて、相談支援専門員や保護者様と連携をとりながら各関係機関と連携して支援が行えるようにしています。	今後も、各関係機関やサービス機関と連携をとりながら支援を進めてまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	保護者様を通じて学校との情報共有や連絡調整を行ったり、必要に応じて直接学校と情報共有や連絡調整をしたりしています。また、個別支援計画書の共有や送迎時の引き渡し時等に直接情報共有をしています。	今後も、所属先の学校との連携や情報共有に努めてまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	担当者会議に参加できるように調整し、各関係機関との情報共有に努めています。	今後も、できる限り相互理解に努めてまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	2	現在、そのようなケースはありませんが、あればスムーズに移行できるように情報提供していきます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3	必要に応じて連携をとりながら支援を行っています。	児童発達支援センターの開催する研修等に必要に応じて参加していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	6	感染症や体調等の理由で不特定多数との交流は行っていません。公園等の地域の遊び場に出かけた際に交流を図ることがあります。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	6	現時点では未経験です。	機会があれば参加していきたいと思っています
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	日々の連絡ノートや送迎時にその日の様子を直接お伝えさせていただいています。又、電話や来所相談も随時受け付けています。	分かりやすく伝えられるように切磋してまいります。面談等も随時受け付けていますので、保護者様に周知したいと思います。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	ご希望に応じてご家族の方に自由に活動に参加していただけます。プログラム化はしていませんが、日常でのお子様の対応の方法など個別にご相談に応じています。	ご家族の方が参加できる研修などの情報の発信の方法などを、今後検討していきたいと思っています。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	ご見学や契約時に説明をさせて頂いております。利用者負担等については内容がかなり煩雑ではありますが、なるべく分かりやすく伝えられるよう努力しております。	ご見学やご契約時に丁寧な説明を心掛けておりますが、ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	連絡ノートや日頃の相談内容、お子様やご家族様のご意向確認アンケートなどを用いて把握し、反映できるようにしています。	現在は、ご希望によって面談を設けていますが、定期的な面談を設けていくか検討中です。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	放課後等デイサービス計画書の内容を保護者様に確認して頂き、ご同意の署名をいただいております。	お子様や保護者様のニーズに即した内容にするとともに、分かりやすい文章表現を今後も心がけていきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	連絡帳、送迎時、電話等でご相談を頂いております。内容に応じて、各種専門職と検討しながらお答えさせていただいております。	今後も丁寧な対応を心掛けていきたいと思っております。不安やお悩み等ございましたら、遠慮なくお声がけください。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	6	保護者会等の開催については、他の場所で参加されている方も多く、ご希望が少ないこともあり実施しておりません。	今後、ご要望のお声が増えたら検討してまいります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	日常のお子様に関するご相談内容以外は、児童発達支援管理責任者へいただくように、契約時にご説明しております。申し入れには、迅速かつ丁寧に対応できるように努力しております。	今後も、迅速かつ丁寧な対応を心掛け取り組んでまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	1	季節ごとにお便りを発行しています。行事に関しては、その都度お知らせを配布しております。	SNS等の活用に関しては、個人情報保護やシステム等の兼ね合いから、検討中です。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人情報の取扱いに関して、定期的に全職員に声を掛け意識を促しています。情報の社外への持ち出し、私物PCの持ち込みなどの行為を禁止しています。	引き続き全職員への注意喚起を行うと共に、個人情報の取扱いに関する情報をキャッチしながら取り組んでいきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	お子様や保護者様の特性等に合わせて、意思疎通しやすい方法を検討し、工夫しています。	意思疎通や情報伝達の精度をより上げるため、様々なツールを用いられるように検討していきたく思います。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2	同一敷地内の高齢者のデイサービスの方々とイベント等で交流を持つ機会を設けています。	事業所の特性上、身体の弱いお子様が多く感染症や体調面の不安から、不特定多数の方を招くことは難しいです。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	定期的にマニュアルを見直し確認や訓練を実施しています。	ご家族様には、マニュアル等を配布しておりませんが、その都度、必要な情報をお便りや口頭でお届けしています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	自然災害、感染症のBCPを策定し、職員間で訓練を実施しています。	想定している自然災害やそれに付随する事件事故等の想定を増やし、対応できるように準備をしていきたいと思っております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	ご見学や契約面談の際に、必要に応じて看護師を同席し、医療的なケアに関しての聞き取りなどを行っています。	今後も看護職と連携しながら安全に安心して通っていただけるように細かく確認していきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	初回のアセスメント等で保護者様にアレルギーの有無を確認しています。おやつ等は各自、持参していただいております。	食事の提供等が始まる等の変化があった場合には、指示書をいただく等のアレルギー対応を検討します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2	研修や訓練については年間計画を作成し、計画的に取り組んでいます。	社外研修なども取り入れながら、安全に支援ができるように努めていきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	必要に応じて連絡帳、お知らせ、送迎時などに保護者様にお伝えしております。	取り組みの内容について分かりやすくお伝えできるように考えていきたいと思っております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハットの事例記録を作成して事業所内で共有し、再発防止に努めております。	今後も、職員間で情報を共有・検討し安全に活動していただけるよう努めていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1	虐待に対する研修を実施し、マニュアルの確認を行っています。	外部の研修や事例を取り上げながら、理解を深めていきたいです。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	身体拘束のマニュアルを作成し職員に周知しております。今まで身体拘束が必要となることはありません。	必要な場合には、チェックリストで拘束の必要性を判断、説明書を作成、保護者様にご説明の上、一緒に対応を検討させていただきます。